

時代の要求に応える次世代 ECU ツール

MCS5



MCS5 は、MCS400 シリーズの機能をさらに進化させコンパクト化した製品で、ラピッドプロトタイプングから実車上で最終確認までの工程において汎用的にご利用頂ける、コストパフォーマンスに優れた ECU ツールです。

あらゆるソースからの様々な信号を、10MB/s で最大 16GB の容量まで、DriveRecorder リングバッファ内に保管することが可能で、LAN、あるいは、USB2.0 での HOST PC へのデータ取り込み速度は 300MB/min です。

パワフルなプラットフォーム:

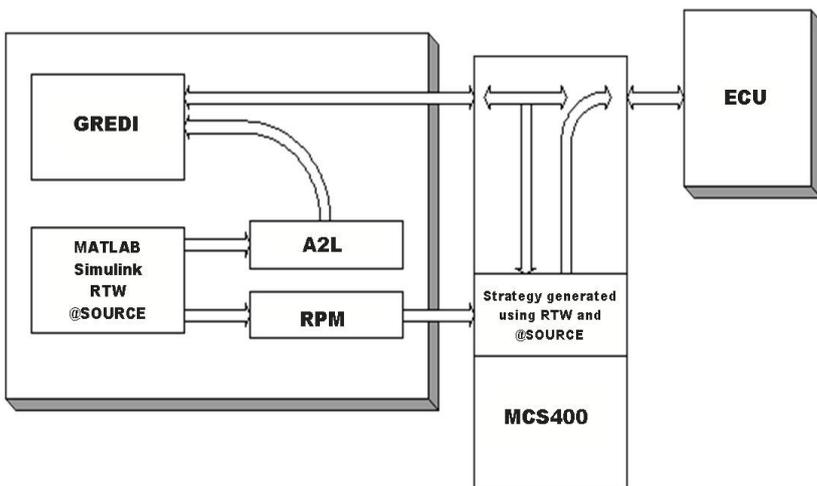
コンパクトなユニット内に、760 MIPS (million instructions per second) のハイパフォーマンスを有しており、消費電力はわずか 3.3W です。オンチップのダブルプレジジョン FPU と VxWorks 5.5 リアルタイム OS の採用により、ラピッドプロトタイプアプリケーションを同時に動作させるのに適した、理想的なプラットフォームを構成しています。

ラピッドプロトタイプの標準化:

MCS5 は、MATLAB/Simulink ® 上でご利用頂けるブロックセット @Source-Lite を標準で搭載しておりますので、ラピッドプロトタイプモデルを容易に作成できます (入出力それぞれ 20ch までは追加費用なく、ご利用頂けます)。

クランクアナライザー機能:

従来の時間軸ベースのみではなく、クランク角度に同期してデータの収集や解析・評価等の作業が行えます。



Copyright © Kleinknecht Automotive. All rights reserved.

calibration tools for the automotive industry

M C S 5

テクニカルデータ

- ・ 400 MHz フリースケール MPC5200 Power PC (760 MIPS)
- ・ オンチップダブルプレジジョンフローティングポイントユニット、128 MB RAM
- ・ VxWorks 5.5 リアルタイムオペレーティングシステム
- ・ 寸法 (mm): 110L x 75W x 22H
- ・ 動作温度範囲: -40 ~ +85 °C
- ・ 動作電源電圧: +4 ~ +60V (過電圧保護回路内蔵)
- ・ ハイスピード 1 GB フラッシュドライブ
- ・ 消費電力 : max. 3.3W

HOST PC インターフェース

- ・ 1 x イーサネット 10/100
- ・ 1 x USB2.0

インターフェース

- ・ CAN 2.0B (max 1Mbps)、あるいは、AUD、JTAG-OCDS 等のハイスピード通信インターフェース

周辺 I/O

- ・ 8 x アナログ入力 (100k サンプル/sec、12bit 分解能、0~5V)
- ・ 8 x 双方向デジタル端子 (10MHz、12bit 分解能、3.3/5V)
- ・ インダクティブピックアップ、あるいは、DHE でのシャフトスピード検出 (クランク、カム、...)

表示器

- ・ ステータス LED 搭載 (オプションで外部表示器を接続可能)

オプション

- ・ ハイスピード 16 GB フラッシュドライブ
- ・ CAN 2.0B 拡張モジュール (2ch 追加)
- ・ GPRS モデムユニット等用 RS-232C ポート
- ・ FlexRay V2.01 拡張モジュール (2ch: A+B)
- ・ XCP on Ethernet、あるいは、データ収集ユニット用イーサネット

CAN 機能

- ・ CCP/XCP での ECU キャリブレーション、モニタリング (最大 20 セットの ECU モジュールと同期可能)
- ・ CCP/XCP での ECU フラッシュプログラミング
- ・ CAN データの収集とバスモニタリング
- ・ ソフトウェアでの CAN バス終端抵抗設定

ネットワーク機能

- ・ DHCP サーバ、または、固定 IP アドレスをサポート
- ・ 自動 MDI/MDIX 切り替え

クラインクネヒト オートモーティブ

〒231-0023 横浜市中区山下町二番地
産業貿易センタービル
Tel: (045)640-0036 Fax: (045)662-7190
<http://www.kleinknecht.com>
E-mail: info.jp@kleinknecht.com